

創刊20周年特別企画

笑顔と健康を育み20年 そして“未来の繁栄”に向けて――

本誌が創刊してから20年となる今春、同じ年月をセラピー業界で過ごしてきた二人をインタビューしました。テーマは、「20年を振り返り、業界の未来を展望する」。

これまで交わることのなかった二人ですが、それぞれのフィールドで時いた種は確実に育ち、身を結んでいました。さまざまな出来事とともに振り返ります。

取材文◎本誌編集部



Chigusa Irie
入江千草さん

Kimiko Kuriyama
栗山貴美子さん

セラピスト業界20年 主な出来事と流行

- 1997年
 - 日本アロマテラピー協会発足
 - 英国式リフレクソロジーがブームに
- 2001年
 - 資格を取得し、手に職をつける人が急増
 - 医師がアロマやセラピーを学び、統合医療を実践



2001年創刊号
特集
プロになる。手に職を持つ。
セラピスト4人の輝く生き方

- 2002年
 - 中医学やアーユルヴェーダなどの伝統療法が注目される
 - ボティワーカーが心理カウンセリングを学んで活かすようになる
- 2003年
 - セラピスト養成スクールが増える



2003年春号
特集
アロマセラピスト急増中!
資格の「取り方」「取らせ方」



2004年12月号
特集
スキルアップとキャリアアップのための「学校」と「資格」

雨後の筍のように現れたサロン セラピストも必然、増えていった

かつて日本のセラピー業界には、こんな時代があった。

「アロマって、何ですか？」——有名百貨店の精油売り場で。

「エステの予約をお願いしたいのですが」——アロマサロンへの電話にて。

これは、本誌が創刊した今世紀最初の年。時の皇太子妃雅子さまが女兒をご出産し、イチローがメジャーリーグのシアトル・マリナーズに移籍した、2001年の出来事である。

この頃、栗山貴美子さんは既にセラピストとして5年のキャリアを積み、株式会社ニールズヤードレメディーズのセラピストとして、そして同校の講師として多忙な日々を送っていた。

入江千草さんは東京・新宿の婦人靴売り場で、ミセスの悩み相談に乗りながら、販売員として接客業に勤しんでいた。

セラピスト本誌が創刊してからの20年は、セラピー業界そのものが飛躍的に拡大し、認知された20年である。本稿では、この急激な流れを二人のパイオニアの証言や出来事とともに振り返りながら、業界の未来の可能性を探ってみたい。

2001年からのおよそ8年間は資格を取得し、手に職をつける“ギヤ

リアアップ”などの言葉が流行り、リフレクソロジーやアロマテラピーをはじめ、さまざまなスクールとサロンが乱立した時期である。多様な形態の個人サロンが雨後の筍のように現れ、主要都市の駅前には短時間で受けられるサロンが登場。数万円の値をつける高級スパが、外資系大手ホテルを中心にオープンしていった。

1996～2008年の 栗山さんは、 アロマブームと共に成長した

当時の本誌特集記事の傾向を分析すると“スクール”“検定と資格”“個人サロン開業”“週末セラピスト”“スパ”といったワードが目立つ（上記参照）。

栗山さんがセラピストになったのは、日本アロマ環境協会の前身である、日本アロマテラピー協会が誕生した、1996年のことだ。翌年、ニールズヤードに入社した栗山さんは、以降、サロンに訪れるお客さまやスクールで学びセラピストになる人たちが急増する過程を、目の当たりにしてきた。果たして、激動の数年間をどのように見つめていたのだろうか。彼の日の出来事を思い出し、次のように語り始めた。

来店するお客さまが増えはじめたのは、ニールズヤードのサロンとシヨップが表参道に移転し、女性誌に紹介さ

二人の歩み

栗山

1996年
銀座のスクールサロ
ンにてセラピストに

1997年
ニールズヤードレメ
ディーズに入社

入江

2001年
婦人靴の販売員時代
に、客の抱える足の
悩みに対応するため
リフレクソロジーを
知る。転職を決断

2002年
銀座のサロンで若石
リフレクソロジーと
酸素吸入を提供

2004年
銀座のサロンでマ
ネージャー職に就く

くりやまきみこ 株式会社ニールズヤードレメディーズに勤めた後、プライベートサロン「Salon Bluelace」を開業。特別顧客への施術を続ける。25年以上にわたる数多くの施術経験を活かし、独自の「和と自然」を融合したホリスティック・ヒーリングによる、現代社会で活躍する女性の健康維持・ポジティブエイジングのサポートを目指している。

いりえちぐさ 株式会社メディロム「Bell Epoc」直営2チームマネージャー。婦人靴売り場の販売員を経てセラピストになる。20代より店長、マネージャーとして活躍した後、2007年より現在の会社に勤める。同社では教育や採用、マネージャーなどセラピストを支える立場で、多くの人材を育てる。現在は「Bell Epoc」エリアマネージャーとして経営にも携わっている。